

【記載例】

請求債権目録

仙台地方 裁判所 古川支部 平成・令和 〇年(フ)第 〇〇〇 号事件の

- 執行力のある判決正本
- 執行力のある第2回口頭弁論調書（判決）正本
- 仮執行宣言付少額訴訟判決正本
- 仮執行宣言付第 回口頭弁論調書（少額訴訟判決）正本
- _____ 正本

に表示された下記債権

記

1 金 100万円

2 上記1（□うち金 _____ 円）に対する平成・令和 5年 7月 4日
から支払済みまで年 3 パーセントの割合による損害金

◎ 該当する年号を丸囲みし、該当する□に✓又は■を記入する。

請 求 債 権 目 録

仙台地方 裁判所 **古川支部** 平成・令和 ○ 年(ワ)第 ○○○ 号事件の

- 執行力のある判決正本
- 執行力のある第**2**回口頭弁論調書（判決）正本
- 仮執行宣言付少額訴訟判決正本
- 仮執行宣言付第____回口頭弁論調書（少額訴訟判決）正本
- _____正本

に表示された下記債権

記

下記1及び2の合計から、下記取立金等（ただし、下記各事件の執行費用分を除く。）を控除した残金

1 金 **100万円**

ただし、主文第1項に記載された金員

2 上記1に対する平成・令和 **5**年 **7**月 **4**日から支払済みまで年 **3**パーセントの割合による損害金

申立人は、**仙台地方** 裁判所 _____平成・令和 **○** 年（ル）第 **○○○○○** 号事件（及び _____事件¹）にて、債務者につき合計金 **5万** 円を取り立てた。

申立人は、 _____裁判所 _____平成・令和 _____年（ル）第 _____号事件（及び _____事件²）にて、債務者につき合計金 _____円の配当等を受けた。

申立人は、債務者から合計金 _____円の弁済を受けた。

¹ 複数の事件で取立てをした場合、全ての事件の事件番号を記載する。

² 複数の事件で配当等を受けた場合、全ての事件の事件番号を記載する。

◎ 該当する年号を丸囲みし、該当する□に✓又は■を記入する。